

# KEEP on T.R.Y

## 社長の今月お伝えしたいこと

VOL63

2023年8月

残暑お見舞い申し上げます。

ご存じの通り、昨今の犯罪は目を覆うものが多く、外国犯罪並みの荒々しい手口が増えました。私も多くの防犯相談を受けますが、答えに困るケースが多々あります。先ずは自分の身を守ること、もう一つは第三者に状況を知らせること。それしかありません。

先ず身を守る。これについては外国では「パニックルーム」という考え方があります。パニックルームとは避難部屋とも呼ばれ、有事において避難するための部屋です。そのポイントは外部からの攻撃に耐えられる頑強なドア構造であることと、外部への連絡が取れること。つまり第三者に知らせることですが、これは携帯以外に、テレビドアホンの中には類似する機能があります。

犯罪白書を読むと、これまでと異なる犯罪傾向として、①弱者を狙う ②アルバイト感覚 ③地方都市 とあり、特に夏は犯罪が多発する時期でもあります。日頃からの防犯対策をこころがけましょう。

犯罪機会論という説があります。これは犯罪が発生するのは偶発的でなく、起こるべくして起こるものと考え、犯罪発生のお機曾となる状況、環境を一つ一つつぶしていく考え方です。「割れ窓理論」は有名ですね。ガラスが割れているのを放置すると、やがて他の窓もすべて壊されるという考え方です。ですから、ご自宅周辺の環境整備ならびに、防犯的に軽微な点は早めの対処をすることが大切です。

犯罪は睡眠学の見地からも考えます。なぜ人は罪を犯すのかということです。捕まった時、またその後のリスクを考えると、大抵の方は思い留まります。しかし、留まれないのはなぜか。実はこれが夏の犯罪率が多い理由の1つなのです。答えは寝不足による判断能力の欠如です。統計的にも立証されていますが、犯罪者は一様に睡眠不足であるといわれています。睡眠不足は主に脳の中の前頭葉の機能を障害しますが、その前頭葉こそ、ひとが考えたり、我慢をしたり、そして感情をコントロールする部位なのです。だから夏こそ睡眠を大切にしましょう。

実は私が睡眠健康指導士の資格を取得したのも、こうした一連のつながりがあるからです。その睡眠をサポートするのが、室内環境の中の照明であり、断熱性であり、その基本が「窓」なんです。いろんなことを守ってくれる【窓】って大事なんですよ(笑)

# 総合防犯設備士として

先日、日本防犯設備協会から、総合防犯設備士受験者への指導講師の推薦を受けました。

現在、防犯設備士は 14,000 人に対し、総合防犯設備士は 150 人程度で、その中の 10 名ほどが指導講師だそうです。

防犯対策として守るものは、ヒト、モノ、カネと言われてきましたが、現在はそれに加え、権利、信頼、情報が加わりました。

特に情報は企業機密だけでなく、個人情報等の流出により、著しく信頼を失墜し、損害を被るケースが多くあります。

総合防犯設備士は家庭の防犯対策に留まらず、防犯リスク全般への対応が求められます。

そのため、改めて防犯理論からシステム理論に至るまで、再度学びなおしています(汗)。

先日は東京・大阪開催の SECURITY SHOW2023 の防犯ブースにて相談員もさせていただきました。

防犯設備士を取得したのが 34 歳。

当初の「カギ」や「窓」以外にも、防犯カメラや出入管理システムと幅広い分野での防犯対策への相談が増えました。

昨今の外国並みの窃盗犯罪への相談も増えました。

資格に恥じることなく、日々新しい情報を取り入れながら対応していきたいと思っています。



# 玄関ドアを選ぶポイント

玄関ドアや引戸を選ぶときのポイントです。

- ① 今、ご不便な点がありますか？
- ② ドアと引戸のメリットデメリットを知りましょう
- ③ 玄関に求められるのは防犯性と採風性です
- ④ 家族構成によりカギを選びましょう
- ⑤ 段差解消材を使用しましょう

お客様とお話すると①④⑤についての質問を多く受けます。

①については玄関ドアから玄関引戸に、逆に引戸からドアにできますか？という質問です。これは可能です。

④については、今の玄関キーは家族の成長に合わせ、スマートフォンやリモコン、タグキー、カードキー、手動キーが選べます。

留意すべきは紛失した場合です。手動キー以外は本体から登録を抹消すれば済みますが、手動キー紛失の場合は取替が必要です。そのため、誰がどのカギを持つかは大切なポイントです。

⑤については、取替方法がカバー工法と呼ばれる、既設枠の上に新設枠をかぶせる方法のため8mm程度の段差が生じます。

ここで留意しなければならないのが、靴の種類です。革靴とスニーカーでは靴底のつま先部の厚みが異なります。

そのため普段通りのつもりが躓く場合があります。

玄関ドア、玄関引戸をお取替の際は必ず段差解消材をご使用ください。



# 窓の補助金は夏の暑さに勝ったのか

今年の夏は暑かったですね。すでに 6 月の段階から暑かったですから。

今年、カーボンゼロを目標に窓改修への大幅な補助金が生まれ、内窓が多く出荷されました。

私は工事後にお客様のところにお伺いした際、効果をお聞きするようにしています。

多くの方が冷房の効きが良くなったとお話されますが、

効きが良くなった＝設定温度を上げた、稼働時間を減らしたわけではないようです。

窓改修による遮熱対策が勝つか、年々上昇する夏の気温が勝るか。勝負は微妙なところですね。

しかし、きっと冬には断熱効果＋節電効果を大いに発揮してくれるものと確信いたします。

